

## 目次

---

### はじめに

#### 第1章 公共調達における大きな状況変化

1. 1 適正化法の施行
1. 2 品確法の施行
1. 3 法律成立の意義と理解
1. 4 米国の状況
1. 5 公共調達における民間へのリスク移転

#### 第2章 公共調達は難しい技術であることを理解する

2. 1 公共調達の特性を理解する
2. 2 縦の技術系列と横の技術系列
2. 3 公共調達の多様な側面

#### 第3章 公共調達の目標

#### 第4章 ベストバリュー調達の実現

4. 1 公共調達で重要な考え方
4. 2 公共調達とリスクマネジメント
4. 3 バリューマネジメントとの融合

#### 第5章 公共調達の手続きと実施

5. 1 公共調達の手続き
5. 2 資格審査による選定
5. 3 過去の実績と関連工事の評価
5. 4 提案書プロセスとショートリストの作成
5. 5 請負者のチームの能力を評価する
5. 6 面接の活用

#### 第6章 ベストバリュー選定手続き

6. 1 ベストバリューパラメータ
6. 2 評価基準
6. 3 評定システム
6. 4 選定アルゴリズム
6. 5 品質スコアのスケールリング
6. 6 価格提案のスケールリング評価

#### 第7章 米国での議論をもとに「価格と品質のトレードオフ」を考える

- 7. 1 PPQP によるトレードオフ解析の事例
- 7. 2 「定性的コスト-技術トレードオフ解析」による選定
- 7. 3 重み付け基準の場合のトレードオフ

## 第8章 ベストバリュー選定の採用のためのスクリーニング

- 8. 1 米国の事例
- 8. 2 わが国の事例

## 第9章 工事管理と工事成績評定

- 9. 1 工事管理の重要性
- 9. 2 工事成績の活用
- 9. 3 海外での事例

## 第10章 わが国の会計法についての議論

- 10. 1 低入札価格に対する制限
- 10. 2 会計法の課題

## 第11章 ベストバリュー調達を超えて

- 11. 1 持続可能な調達に向けて
- 11. 2 ライフサイクルコストニングの活用
- 11. 3 イノベーション調達

## 第12章 まとめ

- 12. 1 米国のベストバリュー調達
- 12. 2 わが国の進むべき方向

おわりに

参考文献

付録 日刊建設工業新聞社への寄稿記事